

自由が丘横山内科 クリニック 院内新聞

第4号
平成17年
6月

平成十七年六月二十三日
(木)とちプラザにて『第
十二回糖尿病講習会』をお
こないました。

今回のテーマは「糖尿病
と口の病気・いつまでも美味
しく食べたい」・つがやす
歯科医院院長梅安秀樹先生
にお越しいただき「食べる」
ことがいかに私たちの健康
と深く関わっているのか、
梅安先生が精力的に取り組
まれている様々な活動の中
から貴重なお話をしてい
たきました。

たいへん充実した講演内
容の中からほんの一部です
が簡単にご紹介していま
す。

糖尿病と口の病気 いつまでも 美味しく食べたい

つがやす歯科医院

院長 梅安 秀樹

歯科の対象は健康な方の
定期検診をはじめ、むし歯
や歯周病、顎関節症や脳卒
中による後遺症の嚥下障害
のリハビリテーションなど
多岐にわたっています。

歯は〇歳から八〇歳まで
全ての世代の「食べる」と
いうことに関わります。日
本は「おじさんとおばさん
の国」というほど年配の方
の占める割合は多く、二十
一世紀は多死・多障害の時

代と呼ばれ生活習慣へのア
プローチが大切です。

家族構成の変化として二
十年後には三割以上がひと
り暮らし(独居老人や若いシ
ングルなど)になると予測さ
れています。すると今まで
家族間で得られていた生活
の知恵や情報の交換ができ
なくなりそうです。そのためこ
れからは情報を得るために
意識的に地域や病院、行政
などに出ていかなければな
らないのです。

「いたくない・やさしい きもちいい」

形態・機能・感覚―この
三つを整えることが歯科医
療の理念です。それらを整
えることでもいつまでもお
いしく食べる生活支援がで
きます。歯科医が口の中をみ
るときには歯と同様に粘膜

糖尿病患者の懇親納涼会

とき 8月9日

ところ 北海道ホテル

参加費 2000円

(飲食代込み)

詳しい内容はスタッフまで

お問い合わせください!!

の状態もよく診ます。

歯科治療の位置付けは人
の生命に関わる救急救命医
療などの救命型とは違い、
その人がその人らしくいら
れる生活支援をおこなうQ
OL型(クオリティ・オブ・ラ
イフ・生活の質などと訳しま
す)の医療です。〇歳から八
十歳まで全てにわたって
「食べる」と
いうことの
支援の医療
をしています。



歯を残そう!

歯は最低二十本以上なければ食べるのに不自由ですから、歯を残すことが大切です。糖尿病や喫煙などの生活習慣は歯を失う危険を高めます。また高齢になると唾液の分泌の低下や粘膜知覚・味覚の変化(食塩の味は5倍も感じにくくなります!)、飲み込む力の低下もおこります。つがやす歯

チャブレンとは病院牧師さんのことで、患者様の不安や相談をうけるお仕事をします。六月講演のため来帯されたチャブレン齋藤先生の「糖尿病の患者さんはお休みが一日もない。お盆やお正月にも糖尿病を休めない。」という言葉には共感される方も多かったのではないでしょう。八月の納涼会を通じていろいろな交流のきっかけになればと思います。

チャブレンって何?

科医院を定期的に受診する人の場合では、五年後でも九割の方が歯を失わずにいられます。定期的な受診でむし歯や歯周病などの喪失リスクが軽減されるのです。定期的にかかりつけの歯科医で歯周ポケット(歯と歯茎の間の隙間)を掃除したり抗菌剤を使用した病原菌の除菌、そして医師のチェックをうけ歯周病の発病を遅らせることが大切です。

糖尿病と歯周病

つがやす歯科医院に通院する重症の歯周病の方のうち3分の2以上が糖尿病や心・循環器系の疾患にかかっています。

糖尿病が歯周病に罹る危険を高め、歯周病が糖尿病に悪影響を及ぼします。歯周病をコントロールするとH

bA1c(ヘモグロビンエーワンシー)が下がるというデータもあります。

よくかんで唾液を出すことは、むし歯予防になり口のリハビリテーションにもなります。生きる喜びに通じるような食事の提供が歯科医である私の使命だと思っています。ぜひ食卓をかこんでコミュニケーションを。食べるこ



とが心の満足につながります。

院長より

糖尿病を持っていると歯が弱く歯槽膿漏が極めて多いことは、よく言われています。今回は梅安先生から歯を通して全身疾患との関わりを広い観点から御教授いただき大変勉強になりました。“歯をいつまでも残

し、美味しく食べ、自分らしく生きたい”と思うのは、誰もが皆共通して感じていることです。私も歯医者に怖い一人ですが、皆様と共に歯を大切にしたいと思えます。個々ご自身のそれぞれの中で、ご自分の歯を大切にし糖尿病と仲良くお付き合ってください。

編集後記

夏至を過ぎ、十勝もいよいよ短い夏の始まりです。梅安先生のお話を通じて改めて定期検診の重要性を痛感しています。講習会に関するご意見、ご要望はお気軽に院長、スタッフまでお寄せください。

第十三回糖尿病講習会は平成十七年十一月開催予定です
ぜひご参加ください